

令和6年度 事故等に関する包括的公表（第1回/R06.04.01～05.31）

No.	発生年月	発生場所	種 別	概 要	再発防止策
1	R06.04	居室他	呼吸器 管理	<p>人工呼吸器を装着されている利用者様について、自発呼吸を促した状態で、居室外において業者による機器の定期点検と回路の一部交換作業を実施いたしました。</p> <p>点検作業終了後、担当看護師が呼吸器を利用者様に装着した際、電源が入っているものと思い込み作動点検を怠り、装着の約1時間後に主電源が入っていないことに気づきました。</p>	<p>呼吸器の作動確認は極めて重要な作業であることを、改めて全職員に周知徹底いたしました。</p> <p>また、呼吸器設定指示点検票(チェックリスト)を見直し、主電源の確保をはじめとする主要項目について、点検実施の注意喚起を促す仕様に改善し、呼吸器コンセントを外して移動した場合には、逐次チェックリストに基づく指差し呼称確認を行うことを徹底いたしました。</p>
2	R06.05	居 室	骨 折	<p>おむつ交換の際、利用者様の左膝に軽度の発赤と腫脹、熱感を確認し、左下肢に触れた際には苦痛表情や全身に力が入る様子が確認されました。</p> <p>他院にてレントゲン撮影の結果、左大腿骨遠位部内側にひびが入っている可能性があることが示され、経過観察となりました。受傷原因については特定できませんでした。</p>	<p>当該利用者様には骨折受傷の既往歴があり、骨粗しょう症へのケアも行うなど、骨折のハイリスク者として対応を行っておりました。</p> <p>今回の受傷をふまえ、理学療法士の指導のもと、下肢を動かす時などの基本的な動作を確認し、ポジショニングについては写真を用意して統一するとともに、おむつ交換や入浴は具体的な支援の仕方や手順を徹底して、一層慎重なケアを実施してまいります。</p>

令和6年度 事故等に関する包括的公表（第1回/R06.04.01～05.31）

No.	発生年月	発生場所	種別	概要	再発防止策
3	R06.05	居室	骨折	<p>おむつ交換の際、利用者様の左膝関節の発赤、腫脹及び熱感が認められました。翌日、症状の増強もあったことから、他院整形外科を受診し、左大腿骨顆上骨折と診断され、ギプスシーネ固定による保存的治療を行いました。</p> <p>骨折の原因については特定が困難ですが、拘縮が強い状態もあり、何らかの動作で膝関節が伸展する力が加わり、骨折に至った可能性があると考えられます。</p>	<p>定期的な骨密度測定により、骨折のリスクを可視化しながら、スタッフが一層慎重にケアに当たることを徹底いたしました。</p> <p>今回の事案では、更衣の際下腿全体を支えながら衣類を通すことや、体位変換後の両膝間へのクッション挿入では、膝の伸展による負荷に細心の注意を払うこと、打撲による外傷防止のため緩衝材で被ったベッド柵の使用継続など必要な対応を行いました。</p>